

# 地下鉄活性化プロジェクト 提案書

平成 27 年 3 月

提案者：ワークショップに参加してくれた北星学園大学 学生の皆さん

(編集：株式会社ノーザンクロス)



# 目次

1. 地下鉄活性化プロジェクト	
Aグループ「車両改造計画」 .....	3
Cグループ「吊り革改革」 .....	6
Eグループ「SAPICA 利用者増加プロジェクト」 .....	9
2. プロジェクト立案までの過程	
第1回：スタートアップセミナー「札幌のまちづくりと交通事業の役割」 .....	15
第2回：地下鉄関連施設の見学 .....	16
第3回ワークショップ：活性化のアイデアをたくさん出そう！ .....	17
第4回ワークショップ：アイデアを評価しよう！磨き上げよう！ .....	20
第5回ワークショップ：地下鉄・市電活性化プロジェクト立案！ .....	27

## ★ご注意★

1. この「提案書」は「地下鉄活性化プロジェクト」での検討内容・模様を株式会社ノーザンクロスが編集したものです。  
一切の文責は株式会社ノーザンクロスにあります。
2. この「提案書」に記載された内容は、実現・実行が確約・保証されたものではありません。



# 1. 地下鉄活性化プロジェクト



# 事業名 車両改造計画

グループ名 **A**

## ① ねらい・ターゲット

- 利用者を増やす
- 地元民向け
- 休日の利用を向上
- 家族連れ (マダニ・テリノ・ウツノ... 多岐にわたる!!)
- 国内向けお客様
- イベント利用者

## ③ 実施体制

- 札幌市交通局
- 協賛先:
  - 札幌市
  - 札幌市 広告宣伝
  - コンパレー
  - 日本ハム
  - ファイターズ
  - 札幌市
  - 札幌市 北海道
  - エスプレー
- NTT KDDI

## ② 実施内容

- NE-H-02X-RS 変換できるスペース
- 札幌市交通局 札幌市 札幌市 札幌市
- ラッピング車 1日何回か限定で走らせると時間を知りたい?
- 1車両だけ 内装を改装したい? 札幌市 札幌市
- コンパレー
- BGM (北海道内) のアーティストのコラボ? BGM
- ゆかりソング
- 円山動物園号をつくる
- エスプレーのラッピング車両 (デザインを札幌市... 札幌市... 札幌市...)
- 左の問題の答えは右に
- 広告のところに小説を貼りたい
- 応募
- 読書週刊とつくる
- ラッピング内容と小説の... コラボ

## ④ スケジュール・手順

Step 1	Step 2	Step 3
予算組ませる	デザインを考える	実施
交渉 (交通局が④の範囲内)	アパレルを応募する	
実施規模を考える	告知	

## ⑤ 実現に向けた課題

- みなさんのご協力 (札幌市、電鉄 BGM)
- みなさんのご理解
- 費用面

## A グループ：車両改造計画

---

### グループ発表

#### 1. ねらい・ターゲット：

「利用客を増やす」ことがこのプロジェクトのねらいです。

ターゲットは、一般の方に今まで以上に地下鉄を利用してもらえるようにするということと、観光客やイベントに参加される方にもっと地下鉄を利用してもらえるようにと考えました。

#### 2. 実施内容：

大きく分けて3つあります。

1つ目は、車内にいろいろなスペースを付け加えるということです。「ベビーカーのスペース」をつける、「電話ができるスペース」をつける、「自動販売機を設置して地下鉄の中で買い物」ができるようにするということが出ました。

もう一つが、イベントなどでいろいろなところと協力して、車両の内装と外装を変える。例えば「コンサドーレ号」「円山動物園号」などが考えられます。そのデザインはデザイナーにしてもらったり、公募したりという案が出ました。

もう一つは「広告スペースに小説、豆知識クイズ」を置くということです。アイデアなどを公募で集めてはどうかという案も出ました。

#### 3. 実施体制

「札幌市交通局」の方に中心となっていただきます。協力先として、自動販売機を設置することについては、例えば「麒麟ビバレッジ、コカコーラボトリング、サントリー」などの飲料会社、電話ができるスペースについては「NTT、KDDI」といった通信会社が出されました。

「広告・宣伝」は、車両の内装・外装を変える部分になりますが「コンサドーレ」や「日本ハムファイターズ」「レバンガ北海道、エスポラーダ」、また、円山動物園ということでは「札幌市」という案が出ました。

#### 4. スケジュール・手順：

Step1 では「予算の組み立て」を考えたり「交通局が3の各団体と交渉」するということ、どれくらいの「実施規模にするかを考える」ということがあります。

Step2 としては、内外装を変えるということで「デザインを考える」ということや、広告スペース等に設置する小説・クイズなどの「アイデアを募集する」ということ、また「こういったことを行います」という「告知」があると考えました。

Step3 では「実施」します。

#### 5. 実現に向けた課題：

検討時間がなかったので少なくなりましたが、デザイン等の公募の際に市民に協力していただくということ、電話をできるスペースを作るので、そのことに対する「みなさんのご理解」をいただく必要があるということ「費用面」として、お金がどうしてもかかってしまうということが出ました。

### 全体討議～参加者からの追加意見・質問

(※出された意見・質問は、赤のふせんでワークシートに貼り付け)

◎小説の掲示を「読書週間」とからめたキャンペーンとして行うということもあります。

◎ラッピング車両をする(外装を変える)ということですが、小説を掲げるのであれば、関係のない外装ではなく、ラッピング内容と小説がコラボしたようなものにしたいほうが面白いのではないのでしょうか。なぜ、こんなラッピングをされているのかということが、小説を読めば分かる。それも、掲示スペース1箇所だけを読めば分かるということではなく、小説は各所に分散して掲げられており、すべて読まなければ全貌がつかめないということも考えられます。すべて読めば「そうか、それでこのラッピングか」とわかる。例えば、一見、円山動物園とまったく関係なさ

そんなラッピングなのですが、小説を読めば「そういうことで円山動物園号なのか」と分かるような展開もあるかもしれません。

◎「BGM」というふせんがありますが、その BGM を北海道ゆかりのアーティストとのコラボで作成し、CD でも売り出したら面白いのではないのでしょうか。アーティストは GLAY や北島三郎、AAA（トリプル・エー）の西島隆弘など。あるいは、この 3 人がコラボした CD を出せば、いろいろな層のファンに売れて、お金もたくさん入るのではないかなと考えました。

# Cグループ 事業名 吊り革改革

## ① ねらい・ターゲット

**ねらい**  
遊園地を  
もっと  
興味をもたせ!!

**ターゲット**  
若い世代  
観光客  
普段  
他の交通機関  
の利用者

**遊園地  
<キーワード>**

## ③ 実施体制

交通局

使用する  
和ラックの  
企業名  
(例: デイズー)

つり革を  
ついている  
ところ

(オリビック  
運営機関)

札幌  
市民  
(若金也アソ)

札幌市

## ② 実施内容

オリビック  
つり革

札幌市の路線の  
シフトカラーを  
取り入れる。

衛生的な  
色を手取り

白と  
汚れた色が  
目立つので  
衛生的に良く

動物の形  
の  
東武線に  
動物園のイメージ  
PR  
観光客や  
子供向け

女性・子ども  
安心車両に  
子ども用の  
低いつり革

低い位置に  
あわせて  
子供向け  
興味をもたせ

札幌  
つり革  
工房と  
工場の  
コラボ

札幌市民  
の  
形

アンメタカラカラー  
の約(キズナ  
シイター)

利用者の  
付いたほい  
マークの  
アイデア募集

つり革  
のアイデア  
募集

市民にアンケートを  
取り、つり革に  
近い形や色を  
募集

つり革にボタン  
をつけて、  
押した音が  
鳴る。

つり革  
の  
色を  
変更

旧1個  
だけ!!  
17ヶ所

## ④ スケジュール・手順

Step 1	Step 2	Step 3
設置する つり革の デザイン考える	つり革を つくる	設置 春 3~5 夏 6~8 秋 9~11 冬 12~2
企業との 交渉 2018~2019 (札幌市) (若金也)	実施	2020年 オリビックカラーに お(つり革)
ポスター 若金の 広告		

## ⑤ 実現に向けた課題

手間

費用

〇色を  
替える  
と  
おと  
る  
のは?

ぶらさが  
る  
の  
強  
要

11か  
つり革  
2025年

## C グループ：吊り革改革

### グループ発表

#### 1. ねらい・ターゲット：

ねらいとしては「遊び心」のある変わった吊り革を作ること、利用者の興味を引き、それで「利用者を増やす！！」ということです。

ターゲットとしては「若い世代」や「観光客」など「普段、他の交通機関の利用者」ということで考えました。

#### 2. 実施内容：

吊り革の色に「それぞれの路線のシンボルカラーを取り入れ」たり「白だと汚れが目立つ」ので、なるべく色をつけていきます。

形としては、東西線には円山動物園に至る円山公園駅があるということで、「動物の形」をした吊り革を作ったり「季節ごとに形を変える」、例えば、冬だと雪だるまなどの形にする、「アニメやキャラクターの形」、例えばミッキーマウスやキティちゃんなどをかたどってみる、その他、星などいろいろな形を作っていこうということです。

また、市民にアンケートをとって吊り革にしてほしい色や形を募集したり、お金がかかるので、そのための原資を募ったりして実施していこうということです。

#### 3. 実施体制

キャラクターとのコラボであれば「使用するキャラクターの企業」と話を詰める必要があります。円山動物園のPRということでは「札幌市」、募金については協力を依頼する「札幌市民」、「吊り革を作っているところ」（企業）とも話を詰める必要があります。

また、実施内容として「オリンピックカラーを使おう」というアイデアもありますが、そうすると「オリンピック運営機関」とも話を進めていければと考えました。

#### 4. スケジュール・手順：

大雑把に言うと、まず「設置する吊り革のデザインを考え」て、考えたも

のを形にし、最終的に車両に「設置」するということになります。

オリンピックやキャラクターなどの吊り革になると、委員会や「企業との交渉」に始まると思います。また、市民から公募する形はその公募が最初に来ると思います。

#### 5. 実現に向けた課題：

吊り革そのものの形を変えるので、その「手間」や時間、あとは「費用」は絶対に課題になってくると思いました。

### 全体討議～参加者からの追加意見・質問

（※出された意見・質問は、赤のふせんでワークシートに貼り付け）

◎たくさん吊り革を作っても、それをローテーションしていくと、そのうち飽きられてしまうのではないかと、それが課題ではないかと思いました。

◎（交通局）吊り革は、お客さんがぶら下がることがあるので、強度がないと認められないというルールがあります。また、鋳型が必要なため、量産すれば1個当たりの金額は安くなるのですが、鋳型一つにつき20万円程度かかるということがあります。

◎キーワードとして「遊び心」が挙げられています。そこで考えてみたのが、五輪がすべてつながった「オリンピック吊り革」です。「どうやって持てばいいんだろう？」という遊び心があることと「こういった吊り革を作るくらいなら、札幌は冬のオリンピック招致に本気だな」と思ってもらえるのではないのでしょうか。実用性はないですが、こういうものもありかなと思いました。

◎強度的には難しいかもしれませんが「木製の吊り革」だと20万円かけて鋳型を作らなくてもできるのではないかと思いました。例えば、札幌市は障がいを持った方、施設への支援にも力を入れているので「木製の吊り革」を木工をやっている障がい者施設に作ってもらうこともあるのではないかと思いました。

◎吊り革を「プレミアム化」というか、その車両、あるいは列車に 1 つだけ取り付けて、それを「見つけた人は幸せになれる」というようなエピソードを付けることも楽しいのではないのでしょうか。

◎「見つけた人は募金をしなければならない」吊り革も考えられますね。「しなければならない」募金というのも変なので「見つけた人は幸せになれるので、ほかの人にも幸せをおすそ分けしましょう」というようなストーリーの付け方も考えられるかもしれません。そういうことで、結構、ふくらませることができる「プロジェクト企画」ではないかと思いました。

◎変わった吊り革が「1 日 1 個だけ！！」あります。どの車両にあるかわかりません…となると、とてもワクワクすると思います。

◎感想ですが、ワークシートに「低い吊り革」というふせんがありますが、小さいお子さん向けにとっても良いと思いました。



## E グループ：SAPICA 利用者増加プロジェクト

### グループ発表

#### 1. ねらい・ターゲット：

ねらいとしては「SAPICA 利用者を増やすことで、地下鉄の利用者を増やす！！」ということです。

ターゲットは「SAPICA を持っていない人」。地下鉄の新規利用者を増やそうと思いました。

#### 2. 実施内容：

LINE や Twitter のアカウントなどを利用して多くの「若者の新規登録者」を増やそうと思いました。

ポイントを自由に利用できたり「100 円単位からチャージ」できれば、学生はもっと喜ぶのではないかと思います。

また、初音ミクなどのキャラクターとコラボしたデザインを作ったり、LINE の「スタンプの販売」などもしたいと思いました。

また「観光客向け」として「雪まつりやコンサート、ファイターズ、レバンガなどの記念 SAPICA の販売」や、そういった多様な SAPICA がネットでの登録（申し込み）で手に入る工夫があれば良いと思います。

観光客向けとしては「日付の印字」ができれば良いと思いました。

そういったことを「民間企業も含めたコラボ」で行います。

#### 3. 実施体制：

「札幌市交通局と JR との協力」「デザイン会社との協力」が出されました。「北海道新聞社との協力」というのは、広告や折込でもっと SAPICA を知ってもらおうということです。

#### 4. スケジュール・手順：

まず「Twitter、LINE やのアカウントをつくり情報配信」したり「記念 SAPICA、デザイン SAPICA の作成」をし、スタートします。

Step2 としては「イベント(雪まつり等)ごとの SAPICA の作成」、Step3 としては「LINE でスタンプ等のサービスの強化」が挙げられました。

#### 5. 実現に向けた課題：

SAPICA を作る上で「お年寄りが登録しづらい」ということ、「コラボの難しさ」が挙げられました。

### 全体討議～参加者からの追加意見・質問

(※出された意見・質問は、赤のふせんでワークシートに貼り付け)

◎自分で描いた「オリジナルの絵が入れられる SAPICA」。例えば、小学校の教育の一環として、描いた絵が入った SAPICA を作るようなことができれば、思い出、思い入れのある SAPICA として使ってもらえて良いのではないのでしょうか。

◎「〇〇の絵を描いてオリジナル SAPICA を作ろう！」というようなキャンペーンとして行うことも考えられます。例えば、そういったイベントをチカホでするなど。イベント的に行えば、仮に 1,500 円の参加費がかかるとしても、足を止めて参加する方もいらっしゃるかもしれません。

◎「若い世代の利用を増やす」ということですが、私は車の運転ができないので、どちらかと言うと若い世代の利用が多いのではないかと思います。そういった意味では、より「年齢が上の人への配慮も大切」ではないかと思います。

◎「いろいろなデザインがあれば良い」というご提案ですが、みなさんは、実際にどのように使われていますか？ 例えば私は定期券入れに入れて使っているので、どのような柄だったかは忘れてしまっています。それで思いついたのは、タッチすると「ピッ」と音がしますが、その音が何種類かあって、好きな音が選べると嬉しいなと思いました。

◎目の不自由な方向けに点字を付けた SAPICA を作れば利用しやすくなるのではないのでしょうか。

→(交通局) 目の不自由な方向けには改札機の場所が分かるように点字タイルを付けています。また、SAPICA をタッチする「クッション」部分に

はその位置がわかるように点字をつけています。

◎SAPICA は IC カードなので、本体は IC チップで大部分は飾りのようなものだと思います。「自由な形」、例えば「キーホルダー」等の形で作ることも可能ではないでしょうか。例えば「SAPICA の IC 入りテレビ父さん」のキーホルダーのようなことも可能だと思います。チャージの仕方は課題でしょうが。あるいは、例えば、観光客の方向けに「地下鉄に 1,000 円分まで乗ることができるテレビ父さんキーホルダー」として使い切りタイプとして売られることも考えられます。

◎「ちょーとんがった Twitter キャラ」を立てることはどうでしょうか。

◎前回のワークシートではプロジェクト名が「サピカ最強プロジェクト(仮)」だったと思います。それが変わったのはなぜでしょうか？

→(大坂さんから回答)「サピカ最強」としていたのは「他のカードではできない 100 円単位の入金や、払い戻しもできる」、そういったことをメインに考えていて、そこに、それ以外のサービスも付加していこう、それをカードを擬人化した Twitter や LINE のアカウントで「自分は 100 円単位の入金や払い戻しもできて最強なんだぞ」と他の IC カードを煽ろうという考え方でした。

Twitter や LINE など SNS では・伝達能力は高く、一回話題になってリツイートされれば一気に拡散して人気が出たりするので、そういう展開・利用を考えようということで「最強」と名づけていました。今回、より具体的に考えていく中で「最強」の言葉が外れてしまったということです。「プロジェクト名」としてのインパクトとしては弱くなってしまったかもしれません。



## 2. プロジェクト立案までの過程



# 第1回：スタートアップ・セミナー「札幌のまちづくりと交通事業の役割」

- 日時：平成26年7月8日（火）18:30~20:00
- 場所：札幌市交通局本庁舎8階講堂（厚別区大谷地東2丁目4-1）
- 参加者：29名

## 第1回の実施内容：

- ①スタートアップ・セミナー「札幌のまちづくりと交通事業の役割」
- ②自己紹介・アイスブレイク
- ③事務局から主旨等説明

## ■プログラムの模様：

(1) ごあいさつ



北星学園大学 経済学部 大原 昌明 教授  
のごあいさつ

(2) スタートアップ・セミナー  
「札幌のまちづくりと交通事業の役割」



札幌市交通事業管理者 若林 秀博 交通局  
長による市営交通事業のご説明

(3) 自己紹介・アイスブレイク



(4) 主旨等説明



## 第2回：地下鉄関連施設の見学

- 日時：平成26年8月28日（木）13:00～17:00
- 場所：札幌市交通局教習所（厚別区大谷地東2丁目4-1）  
大谷地駅事務室（厚別区大谷地東3丁目）  
札幌市交通局東車両基地（厚別区大谷地東6丁目1）
- 参加者：16名

### 第2回の実施内容：

- ①2グループに分かれて、教習所と大谷地駅を見学
- ②合流ののち、東車両基地で工場内を見学

### ■施設見学の模様：

(1) 大谷地駅事務室の見学



(3) 東車両基地についての説明



(2) 交通局教習所の見学



(4) 東車両基地の見学



## 第3回ワークショップ:活性化のアイデアをたくさん出そう!

■日時:平成26年12月4日(木)18:30~21:00

■場所:札幌市交通局教習所204+205号室(厚別区大谷地東2丁目4-1)

■参加者:14名

### 第3回の目的:

- ①地下鉄・市電活性化の取り組みのアイデアを出す
- ②地下鉄・市電活性化の課題を出す

### ■ワークショップのプログラム・模様:

(1) 開会・主催者挨拶



札幌市交通局 高速電車部業務課 東川 光  
広 業務課長よりごあいさつ

(2) 前回の振り返りの後、  
(3) ワークショップの説明



第1回・第2回を振り返りつつ、今後のワークショップの流れを説明

(4) グループワーク ①グループワーク実施前のアイスブレイク



(4) グループワーク ②地下鉄活性化に向けた意見・アイデアの書き出し



(5) グループ発表、全体討議



Aグループ



Cグループ



全体討議







## 第4回ワークショップ：アイデアを評価しよう！磨き上げよう！

■日時：平成27年1月8日（木）18:30～21:00

■場所：札幌市交通局教習所 204+205号室（厚別区大谷地東2丁目4-1）

■参加者：17名

### 第4回の目的：

- ①前回出たアイデアを評価し検討する「プロジェクト」を決定する
- ②決定した「プロジェクト」にさらにアイデアを付加して磨き上げる

### ■ワークショップのプログラム・模様：

（1）開催・主催者挨拶、（2）ワークショップの概要説明と、前回の振り返り の後、（3）グループワーク①取り組みアイデアの評価と検討する「プロジェクト」の決定



（全体ワーク）プロジェクトアイデアの閲覧



検討する「プロジェクト」を決定した後、他グループのワークシートを見学



### （3）グループワーク②「プロジェクト」の磨き上げ



プロジェクトアイデア・課題を抽出



### （4）グループ発表



Aグループ



Cグループ



Eグループ

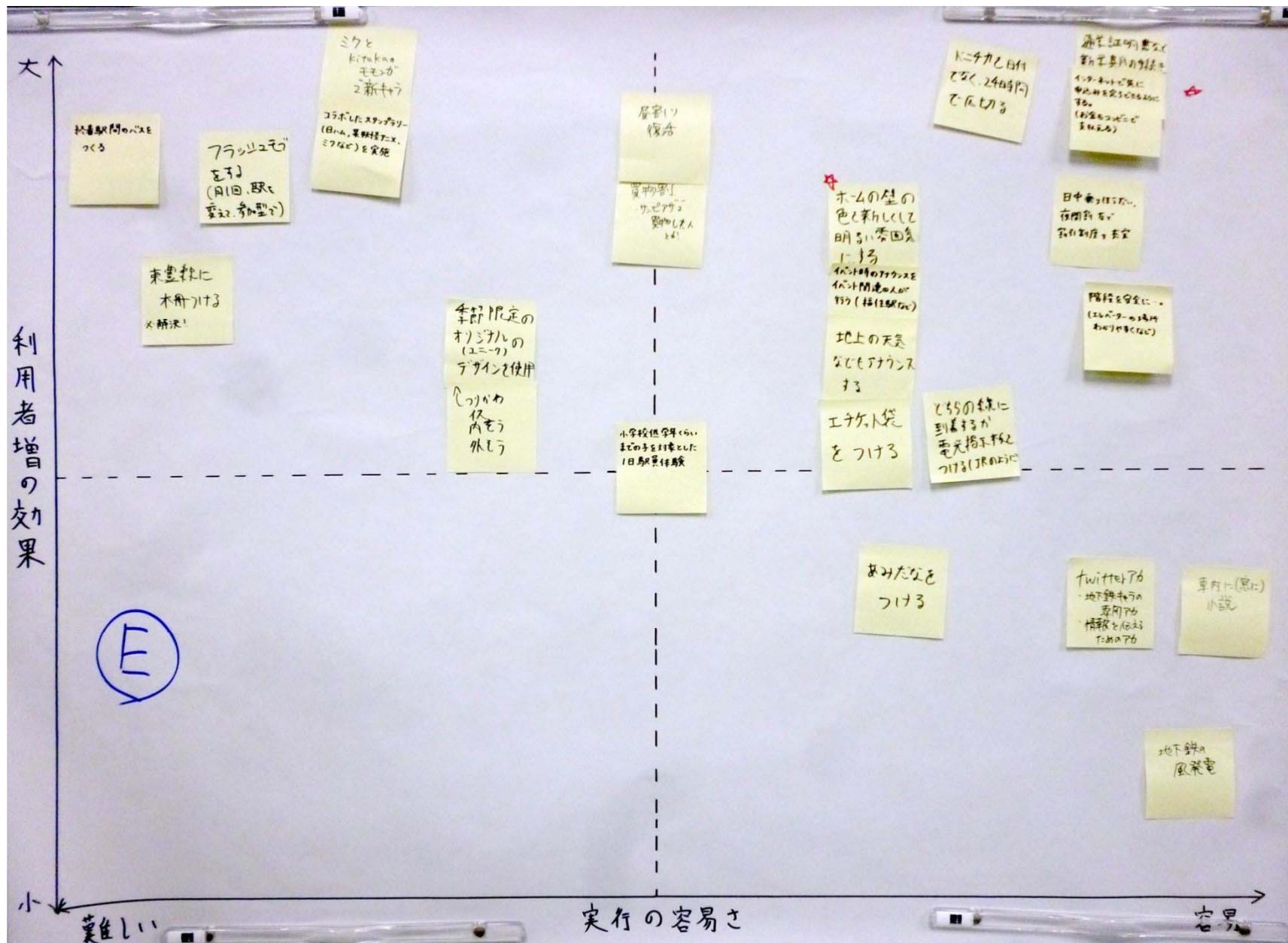


今回のまとめと次回ワークショップ時に検討する項目の連絡





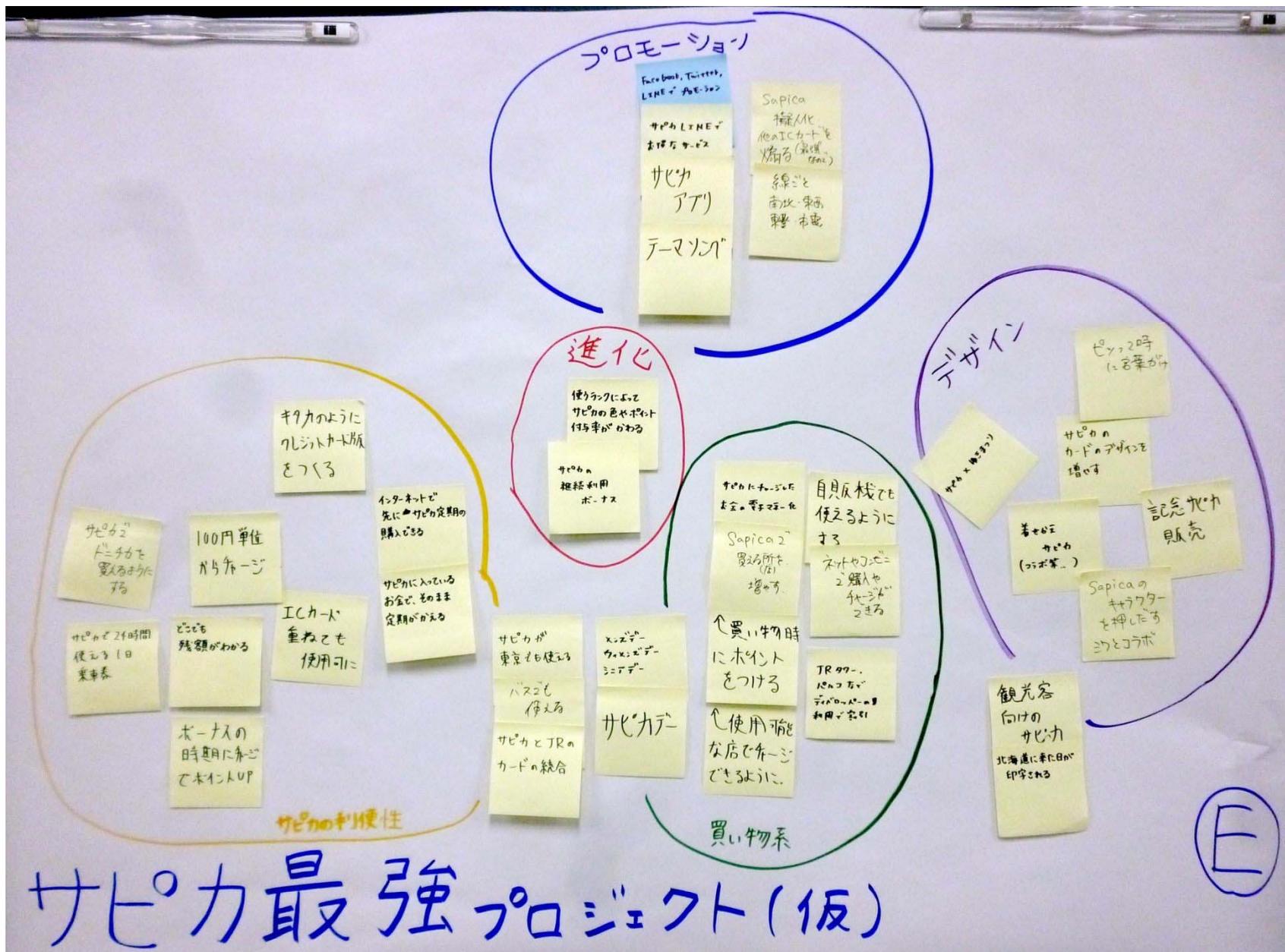
●Eグループ







●Eグループ



## 第5回ワークショップ：地下鉄・市電活性化プロジェクト立案！

■日時：平成27年2月25日（水）14:00～17:00

■場所：札幌市交通局教習所 204+205号室（厚別区大谷地東2丁目4-1）

■参加者：18名

### 第5回の目的：

地下鉄・市電活性化のための「具体的な取り組み」の企画を立案する

### ■ワークショップのプログラム・模様：

（1）開会・主催者挨拶、（2）ワークショップの概要説明と前回の振り返りの後、（3）グループワーク～「事業企画シート」を用いた事業企画立案



前回の検討結果をもとに事業企画を立案



最後に「プロジェクト名」をつけて、事業企画が完成

### （4）事業企画の発表と全体討議



Aグループ



Cグループ



Eグループ



他のグループの方から、事業企画に対する質問

### （5）主催者挨拶・閉会



北星学園大学 経済学部 大原 昌明 教授  
のごあいさつ



札幌市交通事業管理者 若林 秀博 交通  
局長のごあいさつ